絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

Loiseleuria procumbens (L.) Desv.

選定理由

県内での産地が限られている。(現況:RO)

形 態

葉は対生し革質、線形、長さ6~10mm、幅2~3mm、縁は裏面にまくれ、裏面は中軸を除き密に毛がはえる。 花は白色で赤みを帯び、鐘形で中ほどまで5裂する。

国内分布

北海道、本州中部以北。

県内分布

南加賀区、白山高地区。

生態など

低く地上をはう常緑の小低木。花期は6~7月。

生育環境

高山の岩場の割れ目。

危険要因

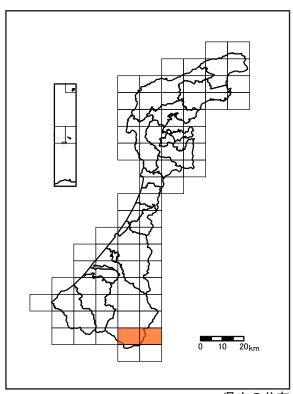
園芸採取、産地局限。

特記事項

生育地は白山国立公園の高地区であるが、一部1,500m以下の場所にも見られる。



白井伸和・2002年7月28日



県内の分布